プラランシェNEO はじめての3D（スリーディー）キラチャームセット

©BANDAI 2015

取扱説明書

セット内容

- 白色絵柄シート2枚
- きらきらシール1枚
- ラインストーンシール1枚
- 透明絵柄シート7枚（ピンク3枚、グレー4枚）
- 透明フリーシート1枚
- スリーディー 3Dメイクツール1個
- ボールチェーン7個
- ひもパーツ5個
- はさみこみ台紙1枚
- ピンセット1個
- とめ具29個
- フックパーツ2個
- ※取扱説明書…本紙

保護者の方へ

使用上の注意

おとなの人とかならず いっしょに作りましょう！

●作品を作る前に必ずお読みください●

●遊ぶときは、オーブントースターまたはオーブンレンジ（オーブンモード）を使用してください。
電子レンジ機能は使用しないでください。
●オーブントースター、オーブンレンジ（オーブンモード）を加熱しすぎたときは、スイッチを切り、しばらくフタをあけておいてください。
●熱源の取扱いは必ず大人が行ってください。

●初めは絵柄シートの切れ端などを試しに加熱して、様子を見ましょう。
●加熱後しばらくの間、絵柄シート（作品）は高温となります。直接触れますとやけどしますのでご注意ください。
●絵柄シートとアルミホイル以外のものをオーブントースター、オーブンレンジで加熱しないでください。
●本商品をアクセサリーとして絶対に使用しないでください。破損した際に危険な先端や縁端が生じ、ケガをする恐れがあります。

⚠警告（けいこく）

保護者の方へ　必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
●とめ具は、機能上、尖っていますので危険です。使用目的以外は絶対に遊ばないでください。
●絵柄シート及びフリーシートの切り方によっては縁部が鋭くなる可能性があります。注意して作成してください。
●大人の方と必ず一緒に作業してください。
●熱源の取扱いは必ず大人が行ってください。

⚠注意（ちゅうい）

●取扱説明書（本紙）を必ずお読みください。
●ひもパーツの紐は、指などに巻きつけたりしないでください。血がかよわなくなり危険です。
●梱包袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
●ハサミを使用する部分があります。お取扱いにはご注意ください。
●遊ぶときの熱源は、オーブントースターまたはオーブンレンジ（オーブンモード）を使用してください。
電子レンジ機能は使用しないでください。故障や事故の原因となります。
●絵柄シート及びフリーシートとアルミホイル以外のものを一緒に熱源に入れないでください。故障や事故の原因となります。
●熱源から絵柄シート及びフリーシート（作品）を取り出すときにはお気を付けください。やけどの恐れがあります。
●加熱後しばらくの間、絵柄シート及びフリーシート（作品）自体が高温となります。直接触れますとやけどしますのでご注意ください。
●3Dメイクツールを使用する際は必ずピンセットを使用してください。やけどの恐れがあります。
●可動する隙間には指など入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。

くちにいれない　おとなといっしょ　まきつけない

≪電話受付先≫　バンダイお客様相談センター
〒277-8511　柏市豊四季241-22
ナビダイヤル　0570-041-101
●受付時間 10時～17時（祝日、夏季・冬季休業日を除く）
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。
Webでのお問い合わせ「Web相談センター」
URL http://www.bandai.co.jp/support/
≪商品・修理送付先≫
バンダイ　栃木修理・配送センター
〒321-0298　栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67
●営業時間 10時～17時（土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く）
電話番号はお客様相談センター共通

発売元
株式会社バンダイ
東京都台東区駒形1-4-8 〒111-8081

〈使用上の注意〉
●本商品を樹脂製のソファーやシート、タイルなどの上に置かないでください。長時間接触していると色が移る場合があります。
●可動部分・取付部分を無理な方向に強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。
●付属の紐（ひもパーツ）では、一部の携帯電話、PHS、小型カメラ等に、取り付けられない場合があります。ご使用になる機種の取り付け部の形状を事前にご確認ください。
●とめ具は作り易さを考慮して、広がりやすくなっております。組立後の取り扱いにはご注意ください。取り付けたチャームなど紛失する恐れがあります。
●熱源に絵柄シートを入れる場合は、必ずアルミホイルを敷いてご使用ください。
●焼きあがった絵柄シートの着色部分は手の油分で色落ちすることがあります。チャームとして付ける場所によっては色が付着する恐れがありますので、ご注意ください。

お家で用意するもの

色えんぴつ、各種ペン（油性ペン・水性顔料インクペン）、ハサミ、アルミホイル、オーブントースター（オーブンレンジ）、スティックのり

基本のつくりかた

※ハサミを使う際は十分に注意しましょう。※机・テーブルなど平らな所で作業しましょう。

1.色をぬろう！

色をぬるときに、手や衣服、机・テーブルなどを汚さないようにきをつけてね！

●絵柄シートは絵が印刷されている面が裏面です。

〈透明絵柄シート〉

〈白色絵柄シート〉

❶シートの種類や、ぬりたい面に合わせて画材を用意します。

色えんぴつ
透明絵柄シートの裏面（ザラザラした面）に使ってね！

油性ペン
全ての絵柄シートの、表面にも裏面にも使えるよ！
ただし、表面の印刷部分を油性ペンで強くこすると印刷が消えてしまうことがあります。
※名前など文字を書くときは表面に油性ペンで書いてください。

その他の画材
水性顔料インクペンは全ての絵柄シートの両面に使えますが、種類によってはインクが乾きにくく、うまくぬれなかったりします。はじめての画材を使うときは、絵柄シートの切れ端を試しにぬって加熱して様子をみましょう。

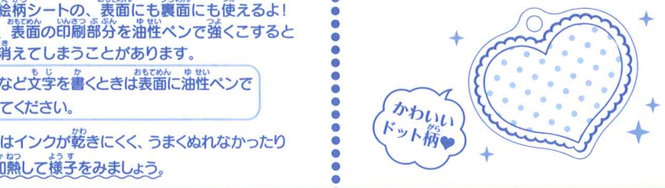
❷お家にある色鉛筆やペンなどで色をぬります。

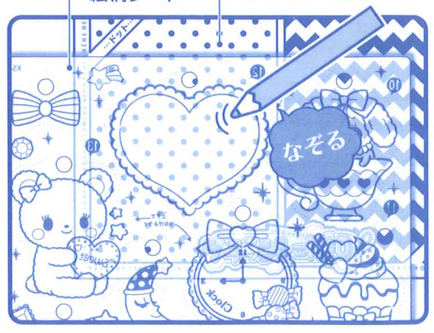
透明絵柄シートの下に白い紙などを敷くとぬりやすいよ！

※上の絵は透明絵柄シートの裏面からぬっています。

色ぬりアレンジ　はさみこみ台紙を使ってもようをかく

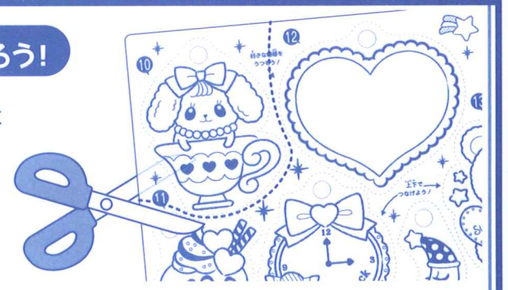
はさみこみ台紙には4種類の模様がデザインされています。
はさみこみ台紙を絵柄シートの下に敷くと模様が透けて見えます。
模様をなぞれば絵柄シートをかわいくアレンジできます。





2.絵柄シートを切ろう！

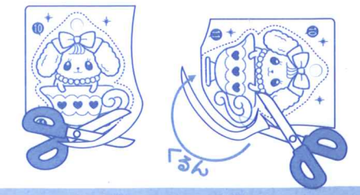
❶はじめに点線より大きめに切りわけておきます。



❷次に点線にそって それぞれの形に切ります。

きれいに切るコツ

●点線のカーブが急になっているところは切りにくいので、図のようにこまかく、切る方向を変えて切ります。
無理に切ると絵柄シートが割れる場合があるので注意しましょう。



絵柄シートにひびが入ってしまった場合、小さなひびであれば、やいた後にくっついて目立たなくなります。

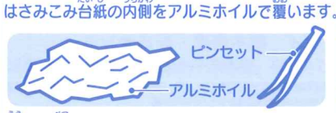
●ハサミや絵柄シートの切れ端でケガをしないように注意しましょう。

つくりかたのつづき　いよいよやきます★

3.オーブントースターでやこう！　⚠この工程は大人にやってもらいましょう

やくまえに…準備

はさみこみ台紙の内側をアルミホイルで覆います。

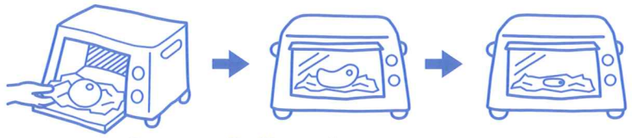


上とは別にくしゃくしゃにしたアルミホイルとピンセットを用意します。

オーブントースターは800W～1000Wもしくは200℃設定で約1分半、オーブンレンジはオーブンモードで庫内200℃になるまで予熱します。
※推奨温度以上には絶対にしないでください。

くしゃくしゃにしたアルミホイルの上に絵柄シートをのせ、予熱したオーブントースターの中に入れます。加熱していくと、絵柄シートがふにゃふにゃになり、大きくそり返りながらちぢみはじめます。それ以上ちぢまなくなったところでアルミホイルごと絵柄シートをすぐに取り出します。

熱源の取扱いは、絵柄シートの出し入れも含めて必ず大人が行ってください！



※アルミホイルは光っていない方を上にして入れてください。
※ちぢみきってからすぐに取り出さないと、きちんと形をととのえられない場合がありますのでご注意ください。

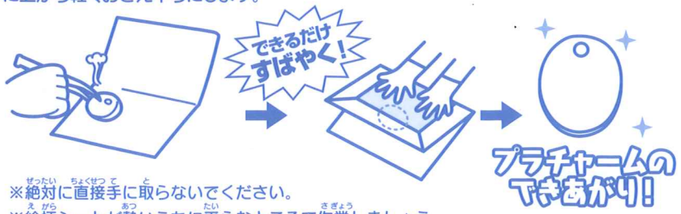
加熱時間のめやす（5×5㎝サイズの絵柄シートの場合）

オーブントースター（985Wの場合）	オーブンレンジ（オーブンモードで庫内200℃の場合）
約8秒前後	約25秒前後

※絵柄シートの大きさや余熱の状態で時間は異なりますので必ず熱源の前でちぢみ具合を確認しながら加熱してください。

4.はさみこみ台紙で平らにしよう！

熱源から取り出したらすぐに、ピンセットで絵柄シートをはさみこみ台紙に移し、図のように上から軽くおさえ平らにします。



※絶対に直接手に取らないでください。
※絵柄シートが熱いうちに平らなところで作業しましょう。
※穴の部分を強く押しすぎると、穴がつぶれてしまう場合があるので注意しましょう。

応用編…重ねやき　プラチャームをくっつけます！

❶重ねたい絵柄シートをえらんで、基本のつくりかたの手順1～4をおこない、それぞれのプラチャームをつくります。

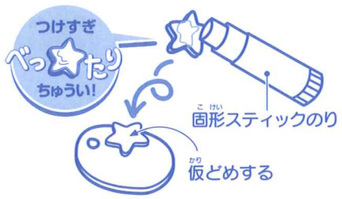
絵柄シート色ぬりのポイント

上に重ねる方の接着面には色を全面にぬらずに、余白を広く残すようにしましょう。

❷固形のスティックのりで、重ねやきしたいプラチャームがずれない程度に仮どめします。つけすぎるとプラチャームどうしの接着を妨げますので、つけすぎに注意しましょう。

スティックのりの種類

白色で固形のスティックのりを使ってください。色つきや、液体ののりは使用しないでください。



❸基本のつくりかたの手順3のようにオーブントースターに入れ、下の表を目安に加熱します。見た目の変化があまりないので、必ずこの通りに行いましょう。加熱が終わったら、アルミホイルごとすぐに取り出します。

⚠この工程は大人にやってもらいましょう

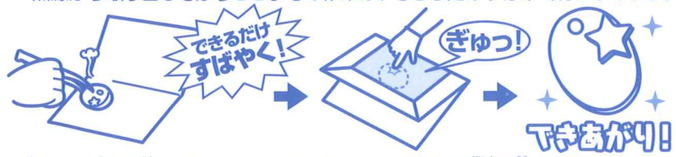
加熱時間のめやす（3×3㎝サイズのプラチャームに1×1㎝サイズのプラチャームを重ねる場合）

オーブントースター（985Wの場合）	オーブンレンジ（オーブンモードで庫内200℃の場合）
約20秒前後	約45秒前後
注意：30秒以上は絶対に加熱しない	注意：55秒以上は絶対に加熱しない

焼きすぎ ちゅうい！

※加熱しすぎるとプラチャームが溶けてしまいます。上記加熱時間は必ず守ってください。

❹重ねやきしたプラチャームを、ピンセットを使ってはさみこみ台紙に移し、上から押さえて圧着、固定させます。重ねた部分を特に力を加えて押すようにします。熱源から取り出してからここまでの作業は、できるだけすばやく行いましょう。



※押すときに熱いと感じたら、ハンカチやティッシュなどをはさみこみ台紙の上においてください。

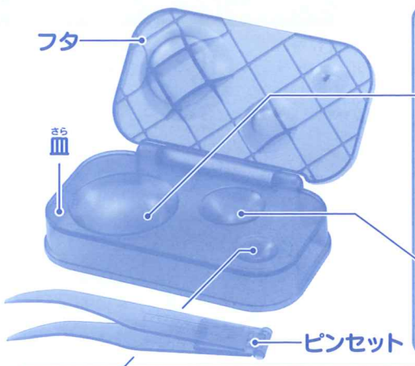
くっつかなかったときは…？

加熱不足や色ぬりに使った画材の相性などで、くっつきづらいことがあります。くっつかなかったときは一度冷ましてから、オーブントースターなら前回加熱したときの秒数+3秒（オーブンレンジなら+5秒）を目安に、再度加熱してください。

何度も加熱するとプラチャームが変色、変形したりしますので、上記の方法で加熱してもくっつかない場合や、しっかり強固にくっつけたい場合は、プラスチック用の接着剤で接着してください。

応用編…3Dメイクツール　ドーム型にしたり、お花にしたり…型押ししてかわいい形にアレンジ★

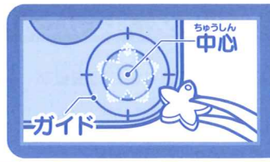
❶基本のつくりかたの手順1～3をおこない、加熱が終わったらアルミホイルごとすぐに取り出します。
❷ピンセットを使って、加熱し終わった絵柄シートを3Dメイクツールにセットします。



大きなプラチャームをプレスするときはAを使います。プラチャームは裏側を上にして3Dメイクツールの皿に入れ、セットします。

Aより小さなプラチャームをプレスするときはBを使います。プラチャームは裏側を上にして3Dメイクツールの皿に入れ、セットします。

お花をつくるときはCを使います。プラチャームは表側を上にして3Dメイクツールの皿に入れ、セットします。



まわりのガイドを目安に、できるだけ中心にセットしよう！

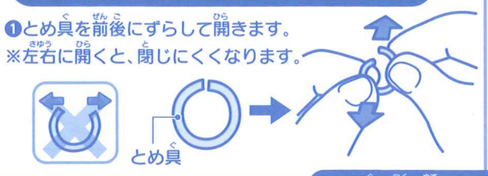
できるだけすばやく！

❸絵柄シートをセットしたら、フタが浮かないように閉めて上から軽くおさえます。
❷から❸は絵柄シートが熱いうちにできるだけすばやく行いましょう！

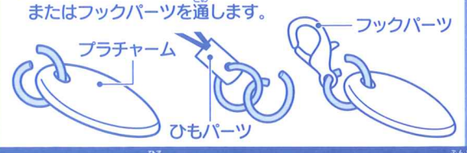
パーツのとりつけとデコレーション　プラチャームをパーツでつなげよう！

とめ具・ひもパーツ・フックパーツ

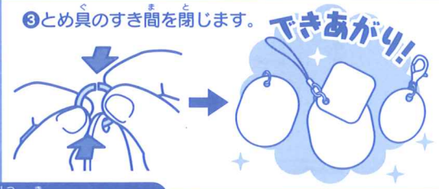
❶とめ具を前後にずらして開きます。
※左右に開くと、閉じにくくなります。



❷とめ具のすき間からプラチャームやひもパーツ、またはフックパーツを通します。



❸とめ具のすき間を閉じます。



※とめ具は作り易くするために、やわらかく、広がりやすくなっています。プラチャームの紛失に気をつけましょう。

ボールチェーン

ボールチェーンにプラチャームを直接通します。

シールでデコ

加熱し終わったプラチャームに付属のシールを貼ります。

※シールを貼ったら絶対に熱源に入れないでください。